

第 3 回自治会分科会の議事概要

第 3 回江田島市公共交通協議会（自治会分科会）

日時：平成 22 年 1 月 22 日（金）10:00～11:30

場所：江田島市役所 2 階会議室

内容：江田島市公共交通総合連携計画（案）について

■基本方針の考え方について

- ・ 今の考え方では、海上と陸上を同じレベルで位置付けているが、船が無くなれば、江田島市は成り立たない。最重点は航路としてそれを支える陸上交通と位置付けるべきではないか。
- ・ 生活圏が広島や呉に及んでいる以上、航路を最重要課題に位置づけ、採算性だけで考えず、ある程度市が負担する等の覚悟が必要である。
- ・ 「江田島を支える持続可能な・・・」とあるが、「江田島“市”を支える持続可能な・・・」とすべき。

■個別の事業について

○路線バス

- ・ 江田島バス株は市が 95%を出資しているバス会社である。市の政策等に関してもう少し柔軟に対応すべきである。例えば、交通安全の横断幕を貼るとか、江田島市の観光施設に関するラッピングをするなどできないであろうか。

○航路

- ・ 江田島市企業局の高速船の大須への寄港は、数便であれば可能ではないか。三高への寄港は、かき筏があるため迂回が必要であり、その所要時間が加算されれば、高速運賃が取れなくなるのではないか。
- ・ 大須は、バスで切串までの移動を確保することにより、これまでと同レベルの航路利用が保障されれば、フェリーを寄港させる必要性は薄いのではないか。
- ・ 大柿は船に頼っている人は少ない。マイカー利用が大半である。
- ・ 柿浦から呉方面への航路利用者は、以前は相当数いた。

■要望書の提出

○海上交通再編に係る能美町自治会連合会の意見・要望について

（能美町自治会連合会：H22. 1. 22 受け）

【内容】

- ・ 「中町、高田～宇品」のフェリー 6 便を三高港に統合することについては条件付きで了とする。
- ・ 実質運賃値上げになる状況は容認できない。
- ・ サービス基準の運行回数は必ず確保。
- ・ 公営船は継続すること。民営化は時期尚早。

○市営航路問題に関する要望書

（能美町老人クラブ連合会：H22. 1. 26 受け）

【内容】

- ・ フェリー便の廃止は実質値上げであるため、何らかの措置、配慮を求める。
- ・ 現行高速料金の値下げの検討。
- ・ 市営船の可能な限りのデータの情報公開